はらまち九条の会 検索　○活動の様子や、「会報」全号がご覧になれます。

九条はらまち

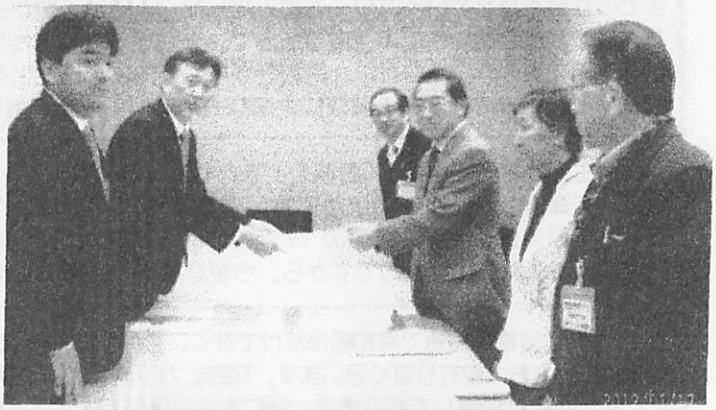
「はらまち九条の会」会報 No.180
2012（平成24）年　1月21日（月）発行

1月17日、首相官邸・野田総理宛てに「除染の署名簿」を提出

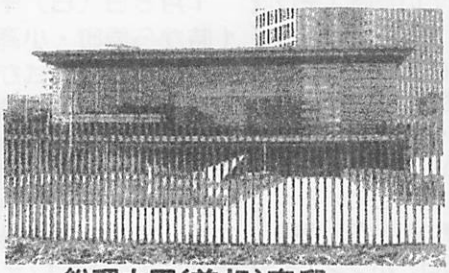
末松義規総理大臣補佐官に「南相馬市の早期の徹底除染」を要求

全国から集められた「除染で子どもたちが安心して暮らせる南相馬市に」の署名13，588筆は、1月17日、東京都千代田区の首相官邸・野田佳彦首相宛に提出されました。南相馬市議会議員小川尚一氏（会員）から衆議院議員石原洋三郎氏の紹介で、午前10時、関東に避難している4名の九条の会会員が、内閣総理大臣補佐官・衆議院議員末松義規氏と会見しました。

署名簿を手渡し、予定の15分をこえ約30分間にわたり、「早期の徹底除染」を強く要求。特に小高区の警戒区域内に自宅がある中里さんと青田さんは、強く避難民の窮状を訴えました。末松補佐官は「居住可能なように最終的には政府として1ミリシーベルトまで除染するが、現在、汚染物の仮置き場が決まらないことが除染が進まない大きなネックになっている」と答えるにとどまりました。



▲1月17日午前10時、首相官邸4階の応接室で、末松義規総理補佐官に「署名簿」を手渡し、要求しました。左側左から石原衆院議員、末松補佐官、右側小川尚一市議、山崎健一事務局長、事務局番場恵子さん、青田利幸さん、（写真撮影は中里範忠さん）。



総理大臣（首相）官邸

国会議事堂の南隣にあり、ここでの審議や判断や決議が国民生活の命運を分ける、まさに国家の中枢にあたります。

≪「署名」添え書きの手紙より ⑤≫

除染といっても放射能は・・・

●除染といっても放射能は消えてしまう訳ではないでしょう？どこかへ流れて積もって・・・。菅直人前首相を擁護するのではありませんが、自民党の時代から大々的に進められた原子力発電の責任は、自民党にあると思うのですが、そちらも責められるべきでしょうね。そして今も原発続行を危惧しています。・・・・・・・・・・・・・・・・・（神戸市　Nさん）

■元日と8日の『朝日新聞』によると、原子力業界から原子力安全委員会の委員や審査委員に8,500万円もの寄付（斑目委員長には400万円）、そして麻生太郎、石破茂、石原伸晃、平沼赳夫、与謝野馨、仙谷由人、枝野幸男、小沢一郎など１０議員のパーティ券を購入し優遇し、献金と同じです。これでは東電批判も脱原発も言い出すわけがない。国民のためではなく、私欲のためだけで、全く情ないと思います。・・・・・・・・・・・・・・（南相馬市　Sさん）

自立した人間なら 原発は安全でないと

■私は1931年生まれで、教育のせいで軍国少年に育てられたと言っていましたが、今思うとそれは戦争責任逃れのような気がします。自立した人間ならば、原発が安全ではないことはわかるはずですが、マスコミの力で安全神話に取り込まれないよう気をつけたいと思います。自らを反省しました。この「署名」は、私にそのことに気づかせてくれました。ありがとうございました。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（西東京市　Yさん）

東電・国は町ごとに疎開地を探すべきだ

■署名を集める中で、年間１ミリシーベルト以下の除染という要求でいいのか、東電・国は町毎、疎開地を探すべきだという議論もありました。（横浜市　Mさん）

■（若松丈太郎氏の詩『飯崎の桜と萱浜の鯉のぼり』の）「無人となった丘のうえで咲く/樹齢三百年のべにしだれ桜」のイメージが、北辺の寒さに震える小生の瞼からはなれません。・・・・・・・・・・（小樽市　Hさん）

長崎で被爆し、原町に住んで・・・

■私は小学生の時長崎で原爆に遭い、その後東京で働いておりましたが、病気や怪我のため、昭和50年4月知人の紹介で原町にきました。当地には知人、親戚がなく途方にくれましたが、妻が決心しスナックを開業、30年近く頑張りましたが、無理がたたり閉業。事務局長様のすすめで「九条の会」に入会し、会報にていろんな事が分かり勉強になりました。私も妻もあまり外出できず、病院に行くのもやっとの思いで、署名運動もできず、子供だけの署名です。今年の会費千円を同封します。・・・・・・・・・・・・・・・・・（南相馬市　Nさん・会員）

・首相官邸に「署名簿」提出のため、本会会員の南相馬市議小川尚一様には議員紹介や、また当日早朝雪の飯舘村を越え福島市経由でわざわざ上京していただき、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。（事務局）

除染・署名活動を行って　≪事務局より一言≫

○この度の署名活動に際しましては、多数の方々に御協力、御支援をいただきありがとうございました。南相馬市においても大半の地区で緊急時避難準備区域の指定は解除されましたが、除染作業などのその後の進展は全くない状況です。これからも引続き、東京電力並びに行政に対して更なる働きかけが必要です。皆様の御協力と御支援を重ねてお願いいたします。……（会長・平田慶肇）

○五感で捉えられないものから、子や孫を守らなくてはと悩む力は、これまでの社会を変えていくパワーを生みだした。人間と人間が交わりあった中からさまざまな偶発性で手を取りあって、全国から寄せられた一人一人の意思は明確な答えをつきつけた。高齢者が率先して新しい文化を造ろう、「人を思う」それが全ての問題の解決に大切なものであることを信じて。……（事務局・石田賢二）

○民主党政権はこの頃、「脱原発」を言わなくなりました。全国どこでもいいから再稼働させたくて躍起になっているようです。マスコミも相変わらず、バランス報道に腐心していますが、反原発派と原発推進派の「バランス」なんて、昔から圧倒的に、つまり国をあげて原発推進派に傾斜していたのですから、今更なにを、と思います。……（事務局・早坂吉彦）

○署名は皆様の熱意で南相馬市だけでなく、全国各地から13,588筆も届きました。同封の添え書き激励文も大変有り難く思います。同時にカンパ115,000円や切手2,805円分のご寄贈もいただき、心より感謝しております。特に本会会員の若松丈太郎氏が詩人の会の全国の会員さんに呼びかけていただいたことも大きく、この場をお借りし篤く御礼申し上げます。（会計・井上由美）

○23年9月頃、いわゆる東電の都合のよい評論家とか専門家が、「100㍉以下なら直ちに影響はない！20㍉以上は国が除染するが、5㍉以下は地方で？」と揺れ動いていた時（テレビ、ラジオで大宣伝中）、地元九条の会が「除染は、原因者である東電と国が1㍉以下に直ちに行え！」と反旗を上げたことは、安全神話のデタラメを押し返す正義の旗に加わることが出来たと思います。……（HP担当・大浦祥見）

○昨年3月末からずっと神奈川県に避難していることから、署名簿を送っていただき、12月20日には東京電力本社へ、1月17日には首相官邸に届けて、他の関東地区に避難している4会員とともに「早期の責任ある徹底除染」を要求してきました。でも13,588筆の署名を、東電や政府がどれほどの重さとして捉えているか甚だ疑問です。また、1月14・15日、ボランティアスタッフとして、パシフィコ横浜での「脱原発世界会議」に参加しましたが、人類が生き残るには「今すぐの脱原発」と「軍備と核兵器の廃絶」しかないと思います。（事務局長・山崎健一）

大震災の被災や避難生活で「憲法」で保障されている生存権が今 脅かされていますが…

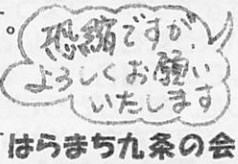
今年も成人式に『憲法』小冊子を配布

▲1月10日「福島民友」

1月8日（日）午後1時から原町・小高・鹿島区合同成人式が南相馬市市民文化会館（ゆめはっと）で開催。今年も会場前で、約600部の『憲法』小冊子を、10名の会員で新成人に配布しました。今こそ「憲法」遵守を考える時です。

本年2012年分・本会会費千円の納入をお願いいたします。

昨年の会費は、大震災の混乱で徴収いたしませんでした。すでに昨年分を支払い済みの方は、本年の会費とさせていただきます。



○≪納入方法≫には、次のような方法があります。

①直接、事務局員に現金で手渡すか、郵送する。

②ご自分の「ゆうちょカード」を使い、ATMでゆうちょ銀行「はらまち九条の会」口座＜記号18260　番号16187701＞へ。手数料は不要。

③「郵便為替取扱票」の場合は、＜口座記号02260－1　口座番号89911　加入者名「はらまち九条の会」＞で。手数料120円が必要。

蓮池 透講演会＋ジャズヒケシ　3・11に福島で日本を考える

蓮池透氏（蓮池薫氏実兄・元東京電力部長）・**伊勢崎賢治氏**（東京外国語大学総合国際学研究院教授・トランペッター）**とともに、福島浜通りを応援するバスツアー**

○**3月10日(土)東京8:00発～相馬14:00蓮池透講演会＋コンサート～相馬か南相馬市に泊　○11日(日)南相馬市の被災地見学・慰霊祭～1泊組は帰京、2泊組は飯坂温泉交流会泊　○2泊組は、12日(月)飯坂温泉～夕刻帰京**

○定員：1・2泊組各45名　○費用：1泊組29,800円・2泊組43,000円　○締切：2月10日　○賛同：九条の会有志

○問い合わせ・申し込み：(株) たびせん・つなぐTEL03－5577－6300 FAX03－5577－6310